

なにわのみやあと  
難波宮跡発掘調査(NW11-2次)

現地公開資料

2011年12月24日(土)

大阪市教育委員会・財団法人大阪市博物館協会 大阪文化財研究所・大阪歴史博物館

■発掘の経緯

今回の調査は、平成23年度難波宮跡整備事業の一環として行っています。調査地は難波宮跡公園の東側で、前期難波宮の朝堂院、後期難波宮大極殿院の東側にあたります(※1)。

この一帯では、これまで奈良時代の瓦の堆積、飛鳥時代の柱跡などの遺構が見つかってきました。また一昨年・昨年度には奈良時代の建物基壇とみられる遺構が検出され、一帯の奈良時代の遺構群について、孝謙天皇が難波へ行幸の際に使用した東南新宮であった可能性も指摘されています。

昨年・一昨年に行った調査で見つかった遺構は、後期難波宮の時期の建物基壇とみられる盛土による高まりで、その北辺・南辺・東辺と北東の隅が確定できていました。今年度の調査は、両調査区の間を発掘し、遺構の西辺を確定し、全体の規模を明らかにすることを目的として行いました。

■調査の成果

1. 後期難波宮の基壇状の高まり

前年までに見つかった東辺の連続と、今回、新たに西辺を確認しました。調査区の東・西両端では高まりを形成する黄褐色の盛土が薄くなり、厚さ10~15cmの暗褐色の粘土が堆積していました。この部分からは瓦や凝灰岩の破片が多く出土し、建物を解体した際に散乱したものとみられます。この間が高まりになっていて、東西幅は約19.5mあることがわかりました。南北幅は過年度の成果から約14mとわかっていますので、遺構全体の大きさが復元できます。

また、高まりの北西隅を確認することに成功し、遺構の形状についてもより確かな情報をつかむことができました。問題はこの高まりが何かということですが、今回も遺構の上には柱穴等の痕跡はなく、基壇の裾を装飾していた地覆石の痕跡も見つかりませんでした。ただし、このような方形の高まりは建物の基壇以外では考えにくく、今回、形状や大きさが確かになったことで、やはり後期難波宮でも新しい段階の遺構、例えば東南新宮(※2)の建物のひとつである可能性が、より高くなったといえるでしょう。

2. 前期難波宮の堀

調査区のほぼ中央で、掘立柱の柱穴が2基発見されました。掘形の大きさは一辺約1.3m、柱の間隔は約3m(10尺、前期難波宮の1尺=0.292m)とみられます。柱穴は延長200m以上にわたって続き、宮殿東方に展開した実務的な役所(難波宮東方官衙)の西外郭を区切る堀の一部と考えられます。

用語解説

※1 [難波宮]

上町台地北端(中央区法円坂一帯)に位置する宮殿で、昭和29年(1954)から始まった発掘調査によって、二時期の宮殿跡が明らかになった。飛鳥時代の宮殿を「前期難波宮」、奈良時代の宮殿を「後期難波宮」と呼ぶ。難波宮跡は昭和39年(1964)に後期難波宮大極殿一帯の17,500㎡が国指定史跡になり、現在の史跡指定範囲は約15万㎡に及ぶ。

前期難波宮は、飛鳥時代の孝徳天皇(在位:645~654年)によって造営された「難波長柄豊碕宮」と考えられている。蘇我氏を滅ぼした乙巳の変(645年)ののちに飛鳥から遷都され、その完成は白雉3年(652)と「日本書紀」に記される。国内最初の本格的な大陸風宮殿で、巨大な内裏前殿、対となる八角殿、14棟以上の朝堂、宮城南門(朱雀門)などを有する。建物はすべて掘立柱で、瓦は使わない。天武天皇(在位:673~686年)の時代には副都として整備されるが、朱鳥元年(686)の火災によって焼失した。

後期難波宮は、神亀3年(726)に聖武天皇(在位:724~749年)によって前期難波宮と同じ場所に造られた。中心部は、大極殿や8棟の朝堂、内裏などからなる。このうち政務や儀式が行われた大極殿・朝堂は礎石を用いた建物で、瓦葺きが採用されたが、天皇の居住空間である内裏は従来からの掘立柱建物で瓦を使用しない。天平16年(744)に一時的に首都になるが、翌年には平城京に再び都が遷され、以後は副都として機能した。延暦3年(784)の長岡宮造営のために宮殿の建物が解体され、移築された。

※2 [東南新宮]

『続日本紀』天平勝寶八年(756)二月の記事に出てくる宮室名。天平勝寶八年二月二四日、孝謙天皇は聖武太上天皇と難波に行幸する。途中、智識寺とその周辺の5寺を礼拝したのち、2月28日難波に到着。『続日本紀』には「是の日、行、難波宮に至り東南新宮に御す」とある。その後、難波には4月15日まで滞在しており、この間、東南新宮が使用されたと考えられる。その名称から「東南方向にある新たな宮」と考えられ、候補地として後期難波宮内裏の東南方向が考えられる。今回の調査地周辺はまさに「東南」の地であり、調査地周辺を東南新宮の候補地と考える説もある。

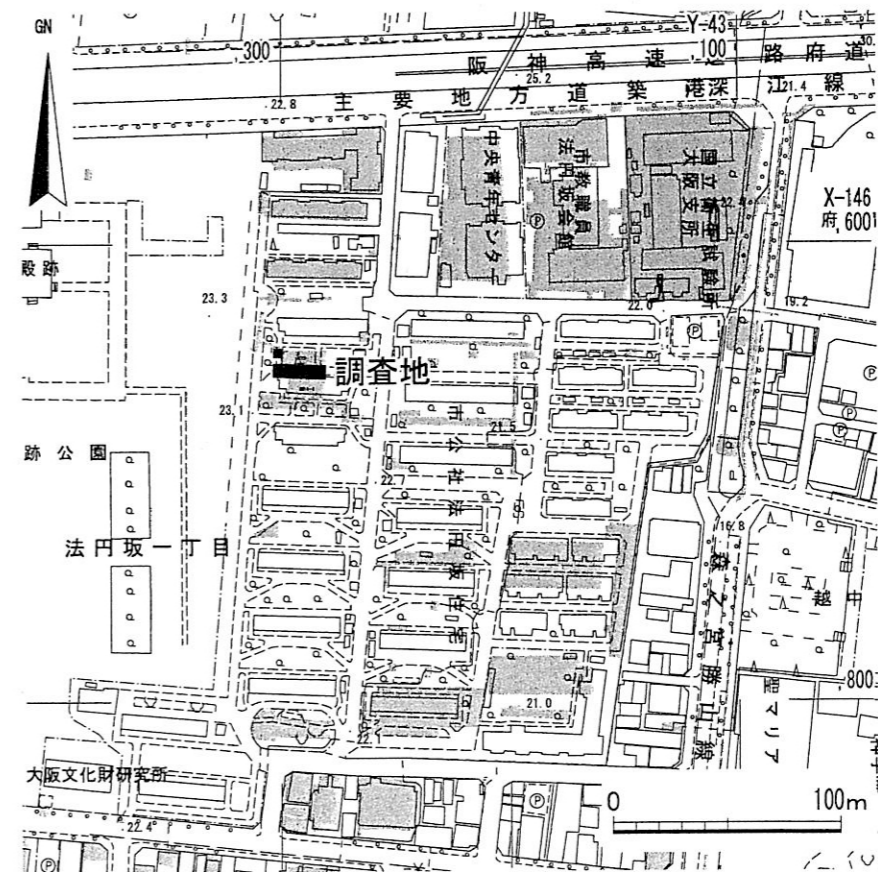


図1 今回の調査地 位置図

